

様式第五十の二（第48条第6項関係）

認定事業適応計画の中間実施状況の概要の公表 (令和4年度分)

1. 認定の日付

令和4年4月4日

2. 認定事業適応事業者の名称

株式会社アダストリア

3. 認定事業適応計画の実施期間

令和4年4月～令和7年5月

4. 認定事業適応計画の実施状況

(1) 事業適応計画に係る事業の目標の達成状況

株式会社アダストリアは、本計画において、同社が有する顧客データとデジタル技術を融合させて、新たな顧客接点を創造し、リアル店舗とWEBの双方でシームレスなサービス・体験を提供するとともに、店舗運営や商品企画、PR、物流など、あらゆる面でデジタル技術を活用した価値創造・生産性向上を進めていくこととしている。

この計画のうち、令和4年度においては、ECサイト上で顧客向けにスタッフスタイリングを提案を行う STAFF BOARD のアプリの拡充、サプライチェーン環境の整備として、EC物流センターの機械化について投資を行った。また、同社と協力工場をプラットフォームを稼働させ、双方に必要なデータをクラウド上のシステムで連携・一元管理を実施した。

(2) 生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標の達成状況

令和4年度においては、同社のECの認知度の機能向上、取り扱いカテゴリーの拡充、スタッフと顧客との関係性強化により、顧客数と購買回数の増加を目指し、売上高の伸び率は令和3年度（2021年度）から令和4年度（2022年度）と比較し122.2%となった。

(3) 財務内容の健全性の向上を示す目標の達成状況

令和4年度（2022年度）において、有利子負債/CFが▲2.0倍となり、経常収支比率が106.2となった。

(4) 実施した事業適応計画の内容

令和4年度（2022年度）においては、自己資金により、一部の資産は予定通り事業供用し、デジタル時代に適応したビジネス構造へ進化する取組みを先行的に実施し、売上高196,727百万円を投資額で除した値は17.8となった。

(備考)

用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(記載要領)

1. 認定事業適応事業者の事業上の秘密に該当する部分については、これを公表の対象として記載しない。
2. 認定事業適応計画の実施状況は、この公表の時までに実施された事業適応に係る事業の達成状況及び数値目標の達成状況（認定事業適応計画に記載したものをを用いる。）を記載する。